

蝉の鳴き声が、夏の終わりを感じさせますね。  
皆様お変わりありませんか？  
今月のメルマガをお送りします。

本号の主な内容

【研究メンバー・リレー記事】

今月は名古屋大学准教授、渡井いずみ先生のご登場です。

【Dr. 伊藤のすこやかコラム】

おなじみ小児科ドクター伊藤先生より、“夏かせ”に関するお話です。

【研究メンバー・リレー記事】

「障害児の親御さんとの触れ合いで感じたこと」(渡井いずみ先生)

先日、ゼミの学生を連れて、  
就学前の障害児とその親子が通う地域の施設に出掛けました。

障害児といっても、  
障害の種類はいろいろです。  
目の見えない視覚障害、  
筋の緊張が強くて上手く歩けない子、  
車椅子や持続酸素吸入が欠かせない子もいれば  
自閉症などコミュニケーションの障害や知的障害のある子  
染色体異常によって身体的・知的に弱い部分があるなど  
一人一人お子さんの状況は違います。

ちょうどその日は  
園を卒業して何年にもなるベテランの親御さんと  
その子ども達(小学生～高校生)が、  
現在通園している親子を招待する  
交流会をしていました。

その日の企画は、  
園内での縁日(輪投げ、ボーリング、金魚すくい、かき氷)でした。  
さすがにベテランの親御さん達は、  
まるでベテランの保育士か看護師のように手慣れたもので、  
その子の障害に合わせて参加しやすいようにルールを変えて  
楽しく遊べるように工夫し、  
主催者側の子どもたちが出来る範囲で  
司会進行のお手伝いをする姿に、  
小さな子どもを持つ親御さん達は  
目を見張っていました。  
また、企画側の親子も  
招待された親子も皆とても楽しそうで、  
参加したゼミの看護学生も感動していました。

障害を持ったお子さんを育てる、ということは  
障害のない子どもを育てる以上に  
エネルギーを使うと思いますが、  
子どもが大きくなってくると  
やはり仕事をするお母さんも増えてくるそうです。  
話をさせていただいたお母様は皆、  
分かりやすいように言葉を選ぶ  
温かい感じの方ばかりでした。

発達障害支援法が制定される前は、  
こういった施設もなくて  
どうやって子どもを育てていくか検討がつかず、  
それぞれが孤軍奮闘状態だったそうです。  
きっとこれまでの経過の中で培った

辛抱強さ、外部との交渉術、  
コミュニケーションのとり方の工夫などは、  
どれも仕事にも役立つでしょうね。

働きながら家事と子育てするのは大変などと  
愚痴っている場合じゃない。  
見習わなくては・・・  
と感じさせられた1日でした。

渡井いずみ（名古屋大学大学院医学系研究科准教授，看護師・保健師・助産師）

---

【 Dr. 伊藤のすこやかコラム：夏かぜ】（伊藤淳先生）

---

こんにちは。  
日本人選手の活躍に沸いたオリンピックも、  
お盆休みも終わりましたが、残暑は厳しいですね。  
それでも、早朝や夜には涼しい風が吹き始め、  
季節が移っていく様子にどこか切なさを感じてしまいます。

小児科はこの時期は患者さんが少なく、外来も病棟も  
落ち着いています。  
それでも、夏休みのない保育園では  
夏カゼが先月に引き続き流行しています。

今一番目立つのは「ヘルパンギーナ」。  
高熱と、ノドの奥に赤いブツブツができるのが特徴です。  
同じくらい患者さんが多いのは「ウイルス性胃腸炎」。  
吐き下しが主な症状です。  
他に、文字通り手と足、口の中に水泡ができる「手足口病」もみられます。

いま挙げた3つとも、  
原因は「エンテロウイルス」です。  
このウイルスはさらに細かく種類が分かれていて、  
どのタイプに感染するかによって、  
ヘルパンギーナになったり、手足口病になったりと症状が変わってきます。

ウイルスは唾液や便、水疱内にいるので、  
よだれのついたタオル、  
お尻を触った手などから感染します。  
1日～数日間の潜伏期を経て発症し、  
症状は数日～1週間続きます。  
特効薬はありませんが、自然に治るので  
症状が軽ければ受診の必要はありません。  
水分が飲めずにおしっこが半日以上出ない場合や、  
ぐったりしている、  
強い頭痛を訴えるなどの場合は受診してください。

解説/ 伊藤淳(小児科医)

---

【編集後記】

---

先日5歳と2歳の子供とキャンプデビューをしました。  
小さい子供連れだとキャンプは何かと大変そう…。  
そう思って敬遠していました。  
しかしネットや雑誌には、  
小さい子供の家族向け、お手軽キャンプツアーがいくつかありました。  
我が家が参加したのは都内近郊2泊3日、  
全ての備品は現地で準備済み。  
「手ぶらでキャンプ」です。  
1日目はホテル敷地内の白樺の林にテントを張り、  
温泉やトイレはホテルを利用します。  
飯盒炊爨(はんごうすいさん)は  
食材もカット済み・お米も無洗米。  
2日目はホテルの部屋にチェックインし、

